

橋梁耐震補強 主な整備箇所

路線名・橋梁名	事業箇所	事業概要
(一) 高田久々知線〔久々知陸橋〕	尼崎市久々知	耐震対策 橋長311m
(国) 176号〔久代高架橋(三田行)〕	川西市加茂	耐震対策 橋長457m
(一) 曾根阿弥陀線〔庵ノ下橋(本線)〕	高砂市阿弥陀町阿弥陀	耐震対策 橋長105m
(一) 上鴨川西脇線〔鹿野大橋〕	西脇市鹿野町	耐震対策 橋長140m
(国) 250号〔大津茂橋〕	姫路市大津区吉美～網干区大江島	耐震対策 橋長80m
(主) 坂越御崎加里屋線〔赤穂海浜大橋〕	赤穂市中広	耐震対策 橋長301m
(一) 上笹千本停車場線〔香島橋〕	たつの市新宮町上笹	耐震対策 橋長167m
(国) 178号〔森本高架橋〕	豊岡市竹野町森本	耐震対策 橋長195m
(主) 香住村岡線〔更野橋〕	香美町村岡区長瀬	耐震対策 橋長83m
(主) 養父穴栗線〔八木川大橋〕	養父市八鹿町八鹿	耐震対策 橋長128m
(主) 丹波加美線〔京橋〕	丹波市氷上町氷上	耐震対策 橋長115m

法面防災対策 主な整備箇所

路線名・工区名	事業箇所	事業概要
(主) 宝塚唐櫃線 ほか	西宮市塩瀬町生瀬 ほか	落石対策等 延長533m
(主) 三田篠山線 ほか	三田市乙原 ほか	落石対策等 延長533m
(主) 西脇篠山線 ほか	西脇市住吉町1 ほか	落石対策等 延長111m
(主) 姫路神河線 ほか	姫路市夢前町新庄 ほか	落石対策等 延長1,930m
(国) 250号 ほか	赤穂市高野 ほか	落石対策等 延長1,330m
(主) 穴栗下徳久線 ほか	穴栗市山崎町青木 ほか	落石対策等 延長440m
(国) 482号 ほか	豊岡市但東町三原 ほか	法面对策等 延長373m
(国) 178号 ほか	新温泉町居組 ほか	落石対策等 延長198m
(一) 日影養父線 ほか	養父市八鹿町日畑 ほか	法面对策等 延長1,212m
(国) 429号 ほか	丹波市青垣町大名草 ほか	落石対策等 延長2,017m
(主) 洲本灘賀集線 ほか	洲本市小路谷 ほか	落石対策等 延長1,384m

ひょうご道路防災推進10箇年計画 (令和6年度～令和15年度)

計画概要

目的：激甚化・頻発化する豪雨災害や切迫する南海トラフ地震に備え、緊急輸送道路や被災した場合に社会的影響が大きい道路を対象に、橋梁耐震補強及び法面防災対策を進め、災害に強い安全な道路ネットワークを構築します。

計画期間：令和6年度～令和15年度
(前期 令和6～10年度、後期 令和11～15年度)



お問い合わせ先

兵庫県 土木部 道路保全課

〒650-8567 神戸市中央区下山手通5-10-1

TEL :078-341-7711(代表)

FAX :078-362-4278



06土P2-009A4

令和6年4月 兵庫県

橋梁耐震補強

1 これまでの取り組み（令和元年度～令和5年度）

兵庫県では、阪神・淡路大震災で落橋・倒壊などの甚大な被害を受けた昭和55年より前の基準で設計された橋梁を優先し対策を進めており、被災した場合に社会的影響が大きい※1橋梁を対象に、令和元年度からの5年間で30橋の対策を実施しています。

また、熊本地震では、平成8年より前の基準で設計された橋梁の路面に大きな段差が発生し、緊急輸送の妨げになったため、対策の加速化が必要となっており、緊急輸送道路の橋梁を対象に、令和元年度からの5年間で45橋の対策を実施しています。

【取り組み状況】 167橋中75橋完了（令和5年度末時点）



落橋（阪神・淡路大震災）



路面に生じた段差（熊本地震）

2 目標

10年間で139橋の橋梁耐震補強を完了（前期5箇年73橋、後期5箇年66橋）

内容	道示	計画期間内の完了数	完了時期
① 被災した場合に社会的影響が大きい橋梁のうち、落橋・倒壊の恐れがある橋梁	～S55	15	前期 73
② 地震発生確率が高い地域における緊急輸送道路の橋梁のうち、路面に段差ができる恐れがある橋梁	S55 ～H8	19	
③ 被災した場合に社会的影響が大きい緊急輸送道路の橋梁のうち、路面に段差ができる恐れがある橋梁		12	
④ 広域的な輸送機能を担う緊急輸送道路の橋梁のうち、路面に段差ができる恐れがある橋梁		93	後期 66
計		139	

※1 交通量1万台/日以上以上の橋梁、100m以上の長大橋、跨道橋、跨線橋
落橋した場合に孤立集落が発生する橋梁

3 対策事例

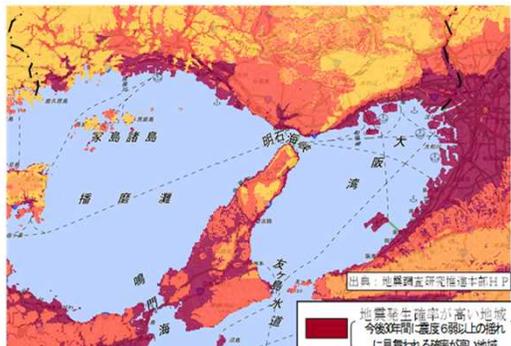


落橋防止装置
落橋防止装置の設置



橋脚の補強

<参考 地震発生確率が高い地域>



地震発生確率が高い地域
今後3年間に震度6以上の揺れ
に見られる確率が0.1%以上の地域

※裏表紙に主な整備箇所を掲載しています。

法面防災対策

1 これまでの取り組み（令和元年度～令和5年度）

兵庫県では、平成24年度、平成29年度～令和2年度に行った道路防災点検で対策と判定された箇所のうち、緊急輸送道路や被災した場合に社会的影響が大きい※2箇所を対象に、令和元年度からの5年間で、245箇所の対策を実施しています。

・平成29年度～令和2年度の点検では、近年の豪雨災害でこれまでの防災点検範囲外において、対策済箇所や道路区域に隣接する民有地での法面崩壊などが発生していることから、点検範囲を見直している。

<点検範囲の見直し>

- I 法面对策済箇所とその周辺
- II 樹木に覆われるなど、道路から見えにくい箇所
- III 道路区域に隣接する民有地



対策済箇所の崩壊



道路区域上部の民有地の崩壊



既存施設を越える落石

【取り組み状況】 380箇所中245箇所完了（令和5年度末時点）

また、令和3年度に発生した既存施設を越える落石の状況を踏まえて、同様の兆候が確認される箇所を対象に、令和4年度に緊急点検を実施しました。

2 目標

10年間で342箇所の法面防災対策を完了（前期5箇年171箇所、後期5箇年171箇所）

内容	点検年次	計画期間内の完了数	完了時期
① 緊急点検を実施し緊急に対策を実施する箇所	R4	47	前期 171
② 地震発生確率が高い地域における緊急輸送道路の箇所	H29 ～R2	1	
③ 被災した場合に社会的影響が大きい緊急輸送道路の箇所		20	
④ 被災した場合に社会的影響が大きい箇所		233※3	後期 171
⑤ 広域的な輸送機能を担う緊急輸送道路の箇所		41	
計		342	

※2 交通量1万台/日以上、被災した場合に孤立集落が発生する箇所

※3 H24点検の要対策11箇所を含む

3 対策事例



落石防護柵



落石防止網



法枠工

※裏表紙に主な整備箇所を掲載しています。